

**卒業生の声、集めました**

自分の区や学校には同性愛や性同一性障害など性的マイノリティの子どもはいない…そんな風に思っていないませんか？卒業生の声を聞いてみましょう！

2015/7/15～2015/8/10 まで、3区を卒業した当事者の声をインターネットで募集しました。ここではメッセージを書いてくれた人の声を一部抜粋して紹介します。

**バイセクシュアル・X ジェンダー寄りの大林さん(仮名)**

年齢:40 歳

出身:淀川区の高校出身

小学生のとき、ズボンばかり履いていたら母親がママ友からいじめにあった。スカートを強制され、地獄のような日々だった。「レズ」という言葉はポルノの言葉だと思って、混乱し続けていた。また、授業の家庭科で女子が男子にクッキーを作るというイベントがあり、気持ちが悪かった。だれかに LGBT について間違いでもなく、ポルノの話でもないことを教えてほしかった。

**レズビアン少しトランスジェンダーの古川さん(仮名)**

年齢:39 歳

出身:阿倍野区の高校出身

小学校で「中性」とからかわれるのが辛かった。中学校では、全般的に息がつまるような思いだった。いじめが日常的で安らげる場所が学校にはなかった。死んでしまおうと思ったこともある。制服のない天王寺高校に入学し、学問のおもしろさが生きる希望になったが、学校の先生に相談するなんて考えたこともありませんでした。